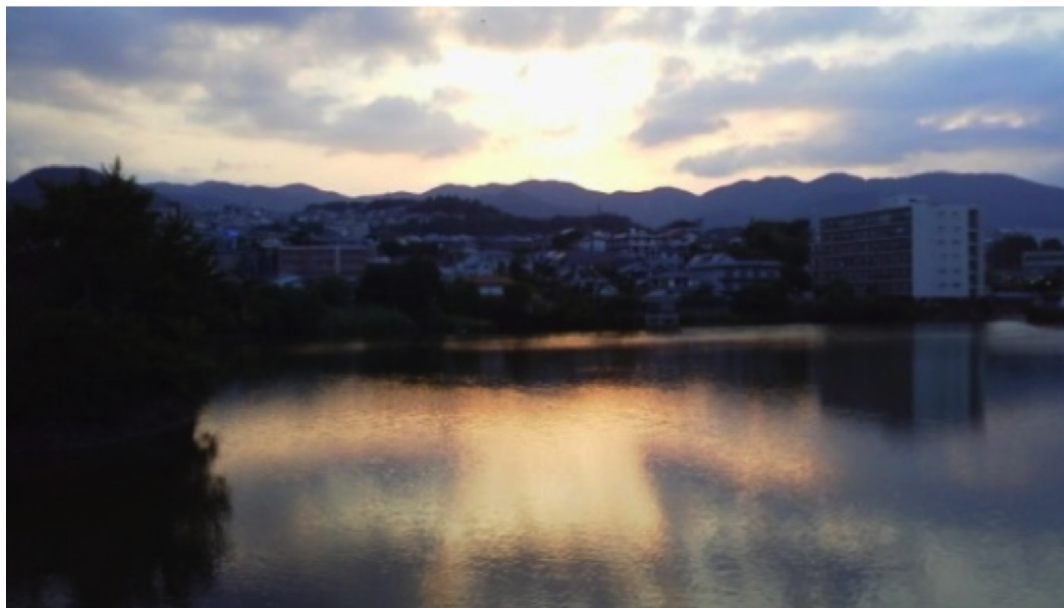


地域ごとのまちづくり計画

(仁川まちづくり協議会)



令和 2 年 (2020 年) 3 月

目次

- 【はじめに】 2
- 【現状と課題】 3
- 【地域の将来像】 4
- 【基本目標】 4
- 【具体的な取り組み】 5
- 【あとがき】 10

【はじめに】

まちづくり計画と言うと駅前再開発や道路網の整備、公共施設の建設といったことを連想しがちですが、ここで言うまちづくりは、それぞれの地域の住民や団体が主な担い手となって行う日常的な活動を通じてまちを作っていくという意味です。

まちづくり計画は「地域（まち）の将来像」「基本目標」「具体的な取り組み」の三段階で構成しています。地域の将来像は「10年先の仁川地域がどのような姿になっていると良いか」という大きなイメージを描いています。それを実現するための大きな柱立てとして6つの基本目標を設定しました。さらに、今後5年間で実施していくことを「具体的な取り組み」としてまとめました。また、計画の役割として市民と行政が互いに協働を進めることを前提に役割分担を決めています。この計画のうち「地域の将来像」「基本目標」については、宝塚市の総合計画に位置付けることになっています。

計画づくりは、地域内の自治会やPTA等諸団体から参加している活動委員が中核となり、各部会で検討を行い、役員会にて取りまとめを行いました。協議を進める中で、改めてまちづくり協議会の役割について議論となりました。その中で、自治会をはじめ地域で活動する各種活動団体がより活発に活動できるように、団体間の連携を促したり、地域でどのような活動が行われているかの情報収集と発信、共有を進めること、地域全体の課題を共有し、解決に向けて取り組むことがまちづくり協議会の役割であることが確認されました。

今回の「地域ごとのまちづくり計画の見直し」では、仁川まちづくり協議会で現在取り組んでいる活動を中心に事業を整理し、アンケートやテーマごとの意見交換会などを通じて課題となっている部分をまとめた上で、追加が必要な取り組みについて検討しました。

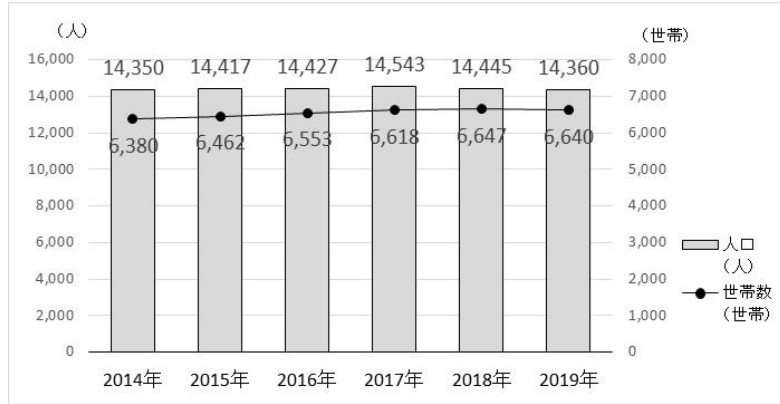
新たに追加する項目として「防災」に関する項目があります。気候変動の影響で近年頻発している自然災害に対して、「防災・減災」の意識を地域全体で高める取り組みを進めます。一方で、仁川地域の特徴でもある弁天池の景観維持といった環境保全活動やとんど焼きなどの文化的な活動は、子どもたちが地域へ愛着を持ってもらうための重要な活動として継続的に地域全体で取り組みを進めていきます。

地域に暮らす人々がずっと住み続けたいまちであるために、新たなニーズや課題が発生した場合は計画への追加・修正も行い、計画にとらわれず地域の視点で活動を進めていきます。

【現状と課題】

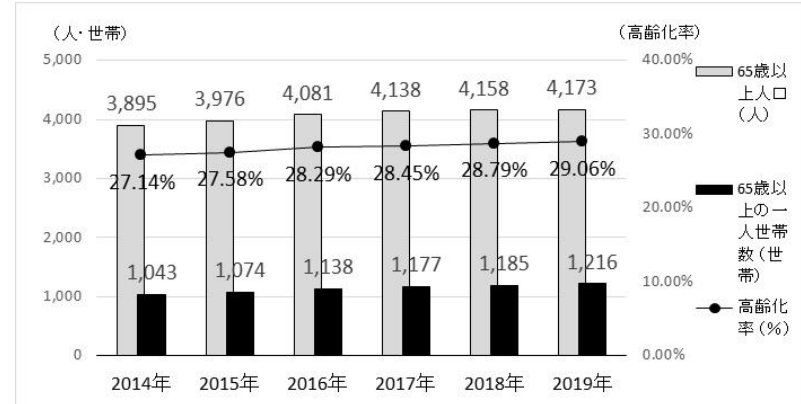
① 人口

近年の人口、世帯数の推移



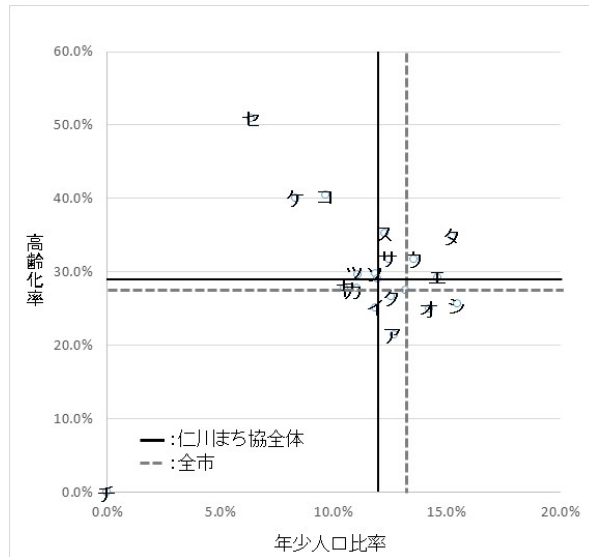
各年 3 月末日現在 住民基本台帳 (まち協別集計)

近年の高齢者人口、世帯数、高齢化率の推移



各年 3 月末日現在 住民基本台帳 (まち協別集計)

町丁目別年少人口 (0~14 歳) 比率と高齢化 (65 歳以上) 率



	年少人口 0~14歳)	年少人口 比率	高齢者人口 65歳~)	高齢化率	
ア 鹿塩 1丁目	269	12.7%	455	21.4%	
イ 鹿塩 2丁目	129	11.8%	274	25.2%	
ウ 仁川旭ガ丘	85	13.6%	199	31.7%	
エ 仁川ういす台	46	14.6%	92	29.2%	
オ 仁川北 1丁目	89	14.2%	156	25.0%	
カ 仁川北 2丁目	214	11.0%	538	27.7%	
キ 仁川北 3丁目	65	10.5%	172	27.7%	
ク 仁川高台 1丁目	145	12.6%	307	26.6%	
ケ 仁川高台 2丁目	30	8.4%	144	40.1%	
コ 仁川高丸 1丁目	39	9.7%	163	40.4%	
サ 仁川高丸 2丁目	80	12.5%	204	31.8%	
シ 仁川高丸 3丁目	112	15.5%	186	25.7%	
ス 仁川台	148	12.3%	426	35.3%	
セ 仁川団地	32	6.4%	256	50.9%	
ソ 仁川月見ガ丘	166	11.9%	417	29.8%	
タ 仁川宮西町	39	15.2%	89	34.8%	
チ 新明和町	※	0	0	0.0%	
ツ 大成町	※	87	233	29.7%	
仁川まち協全体		1,718	11.96%	4,173	29.06%
全市		30,872	13.20%	64,180	27.43%

注：仁川まち協全体のデータはまち協別集計による数値 ※印の丁目は、他のまち協エリアの人口を含む
2019年 3月末日現在 住民基本台帳 (町丁目集計)

(出典：仁川まちづくり協議会地域カルテ (2019年 10月版))

② 周辺環境

仁川地域は、仁川沿いの地区、阪神競馬場から阪急今津線に至る平坦部地区と今津線以西山麓部地区から構成されています。宅地開発によりできた町名には「仁川」の文字がついていますが、平坦部地区には古くからの地名も残っています。地域の最も古い「鹿塩（かしお）」地区は、熊野神社にある伝承に地名の由来があると言われています。

阪急電車沿いに広がる弁天池から高台への景観は、非常に美しく「自然が豊か」という印象が強いです。また、同一地域内に保育園、幼稚園、小学校、中学校が立地、駅前東側は、スーパーマーケットのほか、いくつかの診療所や商店と、宝塚市公益施設「さらら仁川」、仁川駅前サービスステーションがあります。

③ 地域の声（まちづくり計画見直しに向けた意見のまとめ、これまでの協議より）

仁川地域の良い点として、弁天池の景観をはじめとする自然環境と、駅前商業施設など利便性の高い生活環境があることに加えて、年始の「とんど焼き」をはじめとする文化行事、仁川小放課後遊ぼう会が活発に活動し地域がその活動を支えていること、治安が良い点などが挙げられています。

一方、自然災害時の避難に関する情報や避難経路などが周知されていないこと、児童の見守りや高齢者の見守りなど地域内で様々な活動が行われているものの、組織間の情報共有が不足している点が課題となっています。また、景観維持の活動や行事の担い手など、高齢化に伴う人手不足が懸念されています。

まち

【地域の将来像】

自然豊かな景観と歴史・文化を大切にし、住民誰もが心豊かに暮らせるまち

【基本目標】

1. 防災・防犯 …………… 災害時の対応や防犯について、共に学び、備え、行動できるまちづくり
2. 景観・自然環境 ……… 地域の自然や景観を知り、守り続けるまちづくり
3. 福祉 …………… 地域の中の誰もが笑顔で過ごせるまちづくり
4. 健康・スポーツ ……… 子どもから高齢者まで健康で暮らせるまちづくり
5. 子どもの成長 ……… 子どもたちと子育て世代がそれぞれ集える場所があり、安心していきいきと過ごせるまちづくり
6. 歴史と文化 …………… 地域の歴史・文化を学び、体験できるまちづくり

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
1. 防災・防犯 災害時の対応や防犯について、共に学び、備え、行動できるまちづくり	(1) 防災・減災について知る・学ぶ													
	ア	予測される災害について知る・学ぶ機会を定期的で開催する(防災を考える会)	○		→						○			
	イ	自助の意識を高める取り組みを行う		○	→						○		研修・ゲーム等	
	ウ	自治会と連携し災害時での地域の危険箇所を確認する(まち歩き)		○	→						○			
	(2) 共助を進めるための体制の整備													
	ア	防災ネットワーク会議を開催する		○	→						○		自治会単位の自主防災組織等が対象	
	イ	地区防災計画作成作業部会を立ち上げる		○	→						○			
	ウ	地区防災計画作成マニュアルに基づき計画を作成する		○		→					○			
	エ	福祉事業所と災害時の連携を図る		○			→				○			
	オ	駅前事業所と災害時の連携体制を作る		○			→				○			
	カ	引き取り下校訓練参加への啓発と参加者の拡充	○		→							○		
	(3) 地域の防犯について知る・学ぶ													
	ア	地域の犯罪や事故、危険箇所について情報を交換し学ぶ機会を持つ(防犯を考える会)	○		→						○			
(4) 学校や関係機関と連携した防犯活動														
ア	通学路等の安全について、幼稚園、小・中学校、各PTAと地域が連携し見守り活動を行う(登下校の見守り活動・校区安全パトロール)	○		→							○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年					
1. 防災・防犯 災害時の対応や防犯 について、共に学び、 備え、行動できるま ちづくり	イ 引き取り下校訓練参加への啓発と 参加者の拡充	○		→							○		1. (2)カ 再掲
	(5) 高齢者や子どもの交通事故を防ぐ取り組み												
	ア 地域の交通事故の実態を知り、予 防のための活動に取り組む(安全 講習、自転車マナー等)		○	→							○		
	(6) 防犯の啓発活動												
2. 景観・自然環境 地域の自然や景観を 知り、守り続けるま ち	ア 高齢独居者などへの見守り声掛け による空き巣、特殊詐欺等の被害 防止 (自治会・民生委員・ボランティア などとの連携)	○		→							○		
	(1) 弁天池の景観維持												
	ア 弁天池キレイキレイDAY（清掃活 動）の実施	○		→							○		
	イ 弁天池を綺麗に保つための啓発活 動の実施		○	→							○		
	(2) 仁川小学校屋上緑化活動												
	ア 小学校と連携し、仁川小屋上でサ ツマイモ植え付け・栽培を行う	○		→							○		
	イ PTA と連携し作業への参加者を募 るなど活動を維持する仕組みをつ くる		○	→							○		
	(3) 小仁川のホタルを守る活動												
	ア カワナへの餌やり活動の実施	○		→							○		
	イ ホタルを守るための啓発活動の実施	○		→							○		
ウ 仁川幼稚園児のホタル鑑賞のタペ の実施	○		→							○			
エ 仁川小学校児童の学習会の実施	○		→							○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
3. 福祉 地域の中の誰もが笑顔で過ごせるまちづくり	(1) 交流の場と機会づくり													
	ア	多世代交流ができる機会・イベントの実施（敬老の文化行事など）	○		→						○			
	イ	同じ立場（高齢者、障がい者、子育て世代等）同士の活動支援や情報提供の実施	○		→						○			
	ウ	ふれあいいいきサロン、いきいき百歳体操、ミニデイサービス等、みんなが気軽に集まれる居場所づくりを支援する	○		→						○			
	(2) 福祉活動に関わる人を増やす													
	ア	福祉への理解を深める福祉ミニ講座の実施	○		→							○		
	イ	地域の福祉活動に参加・活動する人の掘り起こしとネットワーク化を進める		○	→							○		福祉ミニ講座の受講者などの活動の場をつなげる事ができるような取組を進める。ボランティアの活動先(市・社協等)の紹介など
	(3) 見守り・ささえあうつながりづくり													
	ア	福祉課題を話し合うネットワーク会議の実施	○		→						○			
	イ	支援が必要な人へ声掛け、見守りなどの啓発をする		○	→						○			
ウ	地域にある事業所と連携・かかわりを深める		○	→							○			
4. 健康・スポーツ 子どもから高齢者まで健康で暮らせるまちづくり	(1) 子どもから高齢者までの健康づくり													
	ア	ラジオ体操の実施	○		→						○			
	イ	自治会交流グラウンドゴルフ大会の開催	○		→						○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考		
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年	25年						
4. 健康・スポーツ 子どもから高齢者まで健康で暮らせるまちづくり	(2) 健康・スポーツ活動の啓発														
	ア	スポーツクラブ21仁川の活動に幅広い年代が参加できるという認知を高める ・ 広報紙への掲載等 ・ 体験イベントの実施 ・ ネットメディアの活用・充実	○										○		
	イ	健康・スポーツに関する興味を持ってもらう活動を行う。 ・ 健康セミナー等の開催	○											○	
5. 子どもの成長 子どもたちと子育て世代がそれぞれ集える場所があり、安心していきいきと過ごせるまちづくり	(1) 子育て世代への支援														
	ア	未就園児連れの子育て世代のための仁川遊ぼうひろば（出前児童館）の開催	○											○	
	イ	子育て世代への情報提供（ブログ、広報紙の活用）	○											○	
	(2) 子育て世代や子どもにかかわる各主体が情報交換できる場づくり														
	ア	学校、幼稚園、保育所・園、各PTAを含む子どもにかかわる各主体が情報を交換・共有し課題等につき話し合える場を持つ（福祉ネットワーク会議等）	○												○
(3) 子どもの登下校時の安全確保															
ア	通学路等の安全について、幼稚園、小・中学校、各PTAと地域が連携し見守り活動を行う（登下校の見守り活動・校区安全パトロール）	○												○	1. (4) ア 再掲

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
5. 子どもの成長 子どもたちと子育て世代がそれぞれ集える場所があり、安心していきいきと過ごせるまちづくり	イ	引き取り下校訓練参加への啓発と参加者の拡充	○		→						○			1. (2)カ 再掲 1. (4)イ 再掲
	(4) 子どもの毎日の遊び場・居場所（放課後遊ぼう会等）の継続、拡充													
	ア	放課後遊ぼう会の活動の継続と支援	○		→							○		
	イ	放課後遊ぼう会以外の子どもの遊び場・居場所づくり支援		○	→							○		
	(5) 子どもの体験の場づくり													
ア	仁川小屋上の芋掘り体験、ホテルの観察と勉強会、夏祭り、子ども神輿、とんど焼き、観月の夕べの継続	○		→						○				
6. 歴史と文化 地域の歴史・文化を学び、体験できるまちづくり	(1) 地域住民の交流とふるさとづくり													
	ア	仁川夏祭りの開催	○		→						○			
	イ	子ども神輿の運行	○		→						○			
	ウ	とんど焼きの開催	○		→						○			
	エ	観月の夕べの開催	○		→						○			
	(2) 地域の歴史・文化に触れる													
ア	仁川地区の歴史・伝承について学ぶ機会をつくる		○	→						○			2020年度 準備期間とする	
イ	公益施設さらら仁川の活用を図る		○	→						○			2020年度 準備期間とする	

【あしがき】

計画の見直しにあたり、以下の会合やアンケートで地域の皆様より様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。

■意見交換会	■ 2018年度アンケート（対象者）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仁川地区の防災を考える会 ・ 仁川地区の防犯を考える会 ・ 福祉ネットワーク会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宝塚市立仁川小学校 PTA 常任委員の皆さま ・ 宝塚市立宝塚第一中学校生徒会の皆さま ・ 仁川遊ぼうひろばの参加者の皆さま

各分野に関する基本目標、具体的な取り組みについては、いただいたご意見をもとに主たる担当部で検討を行い、役員会にて協議・調整を行いました。

基本目標	担当部
1. 防災・防犯	生活安全部（防災を考える会、防犯を考える会）
2. 景観・自然環境	環境部
3. 福祉	福祉部（福祉ネットワーク会議）
4. 健康・スポーツ	健康部
5. 子どもの成長	広報部、福祉部、生活安全部（PTA との連携）
6. 歴史と文化	文化交流部

【資料】

- 別綴 資料1 PTA 常任委員対象アンケート結果
- 別綴 資料2 宝塚第一中学校 生徒からの意見聴取まとめ
- 別綴 資料3 まちづくり計画見直しに向けた意見のまとめ